

## 特集 Uターン支援制度がはじまっています



やっつけるぞ! 心の中の鬼

2026  
3

### まちのスケジュール

■教育 + 健康・保健 ★文化・体育 ◆その他

1 日	■ 飯南高卒業式 ◆ ひな祭り事業(来島交流センター)
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	+ 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
6 金	
7 土	■ 中学校卒業式
8 日	
9 月	
10 火	◆ 行政相談(保健福祉センター)
11 水	+ ほっと.Café 食講座【おやつ(蒸し料理)】(来島保健センター) + オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
12 木	
13 金	
14 土	■ 飯南町人権研修会(来島交流センター) ◆ フラワーアレンジメント教室(赤名改善センター)
15 日	◆ 英語でおはなし会(中央図書館) ■ 3校合同定期演奏会(みせん)
16 月	
17 火	+ オレンジカフェ(赤名福島邸)
18 水	
19 木	■ 小学校卒業式
20 金 春分の日	
21 土	◆ しまね家庭の日
22 日	
23 月	
24 火	■ 小中学校修了式 ■ 飯南高終業式
25 水	
26 木	
27 金	+ オレンジカフェ(つかが工房) ◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
28 土	+ オレンジカフェ(上赤名会館)
29 日	
30 月	
31 火	◆ 国民健康保険料納期限、後期高齢者医療保険料納期限

〈毎週火・水・金曜日〉 + ほっと.Café(来島保健センター)

町の人口 4,228人(前月比-19人) 世帯数1,962戸 R8.2.1 現在



先月3人目の子どもが誕生したばかりだという木村さん。子育てに忙しい日々を送っています。休日はキャラクターのコンサートに出かけたり、公園で自転車の練習をしたり。「元気にのびのび育ってくればそれでいい」と優しい表情で話してくれました。

資源・エネルギー、社会インフラ事業を手掛ける総合重工業メーカー(株)HI-で、電気計装エンジニアとして活躍する木村隆二さん(36歳)。

「自分が学んできたことを活かし、社会に必要なものを創り出せるこの仕事に魅力を感じています」と木村さん。こ

「ルーツ いいなん 55」  
このまちに住んでいようと、なかるうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介し、今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

### 社会の安全を創る

これまで「放射線廃棄物処理施設」の設置や、「海洋上で石油や天然ガスを生産・貯蔵・積出する浮体式施設」の建造プロジェクトなどに携わってきました。発注者への提案から施設の電気設備の詳細設計、機械設備の設置、現地対応など、仕事の内容は多岐にわたります。「様々な立場の人と関わるので大変なこともあります。施設が稼働した時にはやりがいを感じます」とこれまでの仕事を振り返ります。

作ることが社会から求められていること。それにしっかりと応えていきたいと力を込めます。中学校卒業後から町外で暮らす木村さんにとって、飯南町といえば星空。子どもの頃、当たり前にあるものと思いついていた天の川も、どこでも見られるものではないと分かった驚いたと言います。「飯南の星空を見ると心が洗われるよう。いつまでもこの星空が見える環境であってほしい」と木村さん。子どもたちがもう少し大きくなったなら一緒に星空観察をしたいと微笑みます。



木村 隆二

飯南町花栗出身。松江高専卒業後、京都大学工学部へ編入。大学卒業後は資源・エネルギー、社会インフラ事業などを手掛ける総合重工業メーカーであるHIへ入社(神奈川県在住)。

赤名保育所で行われた節分の豆まき。子どもたちは手作りの鬼の面を被り、「泣き虫鬼」「怒りんぼ鬼」など、自分の心の中にあるやつつけたい鬼をそれぞれ発表しました。鬼に扮した職員の見えろと一瞬驚いた表情を見せた子どもたち。新聞紙で作った大きな鬼めがけて元氣よく豆を投げ、元気に過ごせるようになりました。



QR codes for social media and a note: スマホで広報誌を読んでもありませんか。飯南町公式SNS